

3年3組 いきいきタイム学習活動案

場 所 3年3組教室
児 童 男子14名 女子17名 計31名
指導者 長濱谷 美鈴

1 単元名 「見たい 知りたい わたしたちの町」

2 単元の目標

- (1) 社会科で学習したことをもとに、矢巾町の農業について関心を持ち、進んで調べたり、体験したりしようとする。 (総合への関心・意欲・態度)
- (2) 矢巾町の農産物でできた献立を試食したり、社会科で学習した土地利用の様子を想起したりしながら、個人課題を設定することができる。 (課題設定の能力)
- (3) 課題を解決するために、友達と協力して取り組むことができる。 (協力、協調して活動する能力)
- (4) 自分たちで考えた追究活動計画に沿って、調べたり体験したりすることができる。 (問題解決の能力)
- (5) 調べたり、体験したりして分かったことを自分なりの方法でまとめ、発表することができる。 (学習活動にかかわる技能・表現力)
- (6) 自分たちの地域の農業の学習を通して、自分たちにできることは何かを考えることができる。 (自己の生き方を考える能力)

3 単元について

(1) 設定の理由

本単元は、3年生になってから2つ目の総合の単元である。前単元「見つけよう、歯のひみつ」では、自分の身体の一部である歯を取り上げ、総合的な学習の時間の学習の進め方を学んでいけるように身近な題材を取り上げた。課題作りの仕方、追究の仕方、まとめ方、これからの自分の生活にどう生かしていけるかなど、総合的な学習の時間の一連の学び方を習得させた。

今回の「見たい 知りたい わたしたちの町」は、前単元で学んだ学び方を生かして、自主的に課題解決をし、また社会科の学習をベースにしながら、地域のよさや特徴をより深く追究するのにふさわしい単元であると考え、本単元を設定した。そして自らの足で外に出かけ、インタビューする活動を通して地域の人と深く関わり、話したり、聞いたりする力を育てるのに適した単元であると考え。社会科の調査活動よりも範囲を広げたり、深く掘り下げたりすることもでき、より多角的に地域の特徴をとらえることを期待したい。地域の農家の方に協力をお願いし、農作業の様子を見学させていただいたり、インタビューさせていただいたりするなどの体験的活動をできる限り取り入れ、農家の方の思いに触れることによって、食の大切さなどにも気付き、自分の生活の中にどう生かしていけばいいのか考えていくこともできる。

(2) 児童について

前単元「見つけよう、歯のひみつ」では、初めての総合的な学習ということで、染め出しの体験から様々な課題をつくることができ、単元全体を通して意欲的に活動することができた。特に「さぐる」段階では、休み時間に自主的に図書室に資料を探しにいたり、分からないことを歯医者さんに質問したりするなど、積極的に調べることができた。また、「いかす」段階でも、調べたことをもとに、「あごを鍛えて丈夫な歯をつくるために、よく噛んで食べる。」など今後の自分の生活の中にどう役立てていけばよいか考えることができた。

しかし、自分たちが調べたことを発表する場面では、役割分担をして練習していても、声が小さくてはっきり聞こえなかったり、速すぎて何を言っていたのか分からなかったりするグループがあった。また、聞いている周りの児童の感想交流の場面でも、終始発表の仕方について感想を述べるにとどまり、発表の中身に触れた感想や質問が少なかった。

そこで本単元では、インタビューする活動や、発表する活動を通して、自分の考えをしっかりと伝える力を身につけさせ、発表を聞いた際には、話の内容を聞き取る力を身につけさせたいと考える。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、野菜などの農産物を試食する活動を通して、全部矢巾町で生産されたものであることを知らせたい。その体験活動から自分はどんな農産物について調べたいか考えさせていきたい。できるだけ主要な農産物である米、野菜、りんご等にグループが分かれていくようにしていきたい。

「さぐる」段階では、グループごとに見学やインタビューができる地域の農家の方のご協力をいただきながら進めていきたい。社会科のきのこの学習を思い出しながら、地域の農家の方にどんなことを質問するのか、どんな所を見学してくるのか、学級でしっかりと計画を立ててから外に出ていくようにする。また、国語科で学んだインタビューの仕方を思い出しながら、調べたい事をきちんと聞いたり、大事な事をメモしたりすることができるように指導していきたい。

「まとめる」段階では、前単元で行った方法とは別の方法でまとめていくことを伝える。まとめる方法に広がりをもてるように、教師からもまとめる方法をいくつか提示する。1学期に見せていただいた4年生の総合の発表も思い出しながら、グラフや写真、実物などの具体的な物を使って発表できるように、声をかけていくようにしたい。また、国語科で学んだ発表の仕方を思い出しながら、声の大きさ・速さに気をつけて、相手に分かりやすく伝えられるように、練習する時間を設定する。発表を聞く時は、前単元では声の大きさや速さに関する感想発表が大半を占めていたので、友達の発表から何が新しい発見として分かったのかを言えるくらい、中身に重点を置いて聞くようにさせ、感想交流できるようにしたい。

「いかす」段階では、自分たちで実際に調理する活動を通して、地域で取れた農産物を味わいながら、地域の農家の方々の苦労や思いを振り返り、食べ物を大事にする心や矢巾町の良さを考えさせていきたい。

これらの一連の活動をしながら、教師側でも評価表に基づいて児童の良さを見取り、記録に残していくようにする。また、児童にもその都度自己評価をさせて、自分たちの活動の成果を自覚させるようにしていきたい。

4 単元の活動計画 20時間扱い 本時17 / 20

段階	予想される児童の活動	時間	児童の活動を支援するための手だて	評価の観点と評価計画	活動形態
つかむ	1. 矢巾町産の農産物でできた食事を味わい、感想を交流する。	1	・試食した後で感想を交流し、全て矢巾町で生産されたものであることは最後に伝えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で調べてみたい課題を考えたことができたか。 【ワークシート】 ・学習グループをうまくつくることができたか。 【自己評価カード】 ・課題解決の方法や内容を考え、計画を立てることができたか。 【ワークシート】 	・全体
	2. 副読本の矢巾町地図で生産される位置を確認し、課題を決める。	1	・学習の意欲付けをはかるために、1と2の活動を連続して行うようにする。		・個人
	3. 課題を類型化し、学習グループをつくる。	1	・友達の課題を聞きながら課題の作り方を学ぶとともに、だれの課題と共通するのかを考えるようにする。		・全体
	4. 課題の解決方法を考える。	1	・学習グループで何を調べるのか、どんな方法で調べるのか計画を立て、見通しをもてるようにする。		・グループ
さぐる	5. グループごとに課題を追究する。	5	・出かける前にはインタビューや見学の仕方を事前指導する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの考えた方法で追究することができたか。 【自己評価カード】 	・グループ
まとめ	6. 発表の準備をする。 ・ポスター・かるた ・新聞・紙芝居・劇 ・ペープサート ・クイズなど	5	<ul style="list-style-type: none"> ・前単元で行った方法とは違う方法にできるだけチャレンジしてほしいことを伝える。 ・役割分担をしながら、発表の練習をする機会も設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表方法を選び、それに従って活動していたか。 【ワークシート】 ・自分たちの発表の仕方を振り返ることができたか。 【自己評価カード】 ・他のグループのよさを見つけることができたか。 【ワークシート】 	・グループ
	7. 発表会をする。	3 本 時 3 / 3	・話す側と聞く側にきちんと視点を与え、感想交流ができるようにする。		・全体
いかす	8. 自分たちで調理する。	2	・グループで追究した農産物を材料に簡単な調理をして、地元の味に触れさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して調理することができたか。 【観察】 ・今までの活動を振り返り、地域の良さを感じることもできたか。 【ワークシート】 	・グループ
	9. 今までの活動を振り返り、学習のまとめをする。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・発表資料などを自由に見ることができるよう掲示を工夫する。 ・自分で調べて分かったこと、友達の発表から分かったことなどを整理し、学習の成果についても振り返るようにする。 		・個人

5 本時の学習活動

(1) ねらい

- ・友達にしっかりと伝わるように発表することができる。
- ・他のグループの発表のよさなどに気付くことができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	時間	教師の支援（*）と評価（ ）
つ か む	1 前時までの活動を想起する。 2 本時のめあてを確認する。 調べたことを発表しよう。	5	* 前時までの活動の様子を想起させることにより本時の活動につなげるようにする。 * どんな点で話すしっかりと伝わるのか、どんな点で聞くといいのか、そのポイントを確認し、紙板書で掲示しておくようにする。
さ ぐ る	3 グループごとに発表する。 友達の発表を聞く。 4 グループの発表について、意見、質問、感想を述べ、交流する。	25	* 資料を見やすいように掲示する。 * 友達の発表の仕方について評価したり、分かったことをメモできるワークシートを準備して、随時書かせるようにする。 * 話す側、聞く側のポイントに従って意見交流させる。 * グループの発表のたびに、3と4の活動をくり返す。 友達にしっかりと伝わるように話すことができたか。 友達の発表をしっかりと聞くことができたか。
ま と め る	5 今までの発表と比べてどうだったか交流し合う。	12	* 3時間の発表全体を振り返ってみて、1学期と比べての成長点や改善点について話し合わせる 自分たちの伸びた所や改善した方がいい所について考えることができたか。
い か す	6 学習の流れを見て、次時への見通しをもつ。	3	* 次は「いかす」段階であることを掲示物から見通すようにし、具体的には自分たちでも農産物を使って簡単な調理をしてみることにについて知らせる。